

平成29年

茨城町民の日

記念式典

町の歩みを振り返り、さらなる飛躍を誓う

茨城町民の日記念式典が2月11日、町立中央公民館大ホールにて開催され、約500人が参加しました。

「茨城町民の日」は、茨城町が誕生した昭和30年2月11日を記念して、町民が郷土茨城町への愛着と誇りを持ち、輝かしい未来を築き上げることを誓う日として定められたものです。

式典では、茨城町民の日実行委員会栗原完次委員長が「町のさらなる発展のため、町民が協力し合い、より一層積極的にまちづくりに参画していきましよう。」と挨拶しました。

その後、町の発展に貢献した方々の表彰や功績者の紹介に加え、今年から新たに「いばらきまち三世代同居家族賞」を設け、互いに助け合いながら暮らす三世代夫婦の世帯17組の家族を表彰しました。

第2部の人づくり講演会は、元NHKアナウンサーでフリーアナウンサーの宮本隆治さんが「ゆとり・ユーモア・帰りは元気！」と題して講演。アナウンサー歴44年の経験を踏まえた、人前で話す際に緊張をほぐす方法や理想的な声の出し方などのユーモアを交えたお話に、会場は終始笑いに包まれていました。



青葉小学校児童と青葉小学校校歌「青葉の下で」斉唱。



マシコタツロウさん 茨城町ふるさと大使に就任

茨城町では、町の魅力を広くPRするとともに、イメージアップや産業・観光などの振興を図ることを目的とし、町にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方を「茨城町ふるさと大使」として委嘱しています。

この度、これまでの8人のふるさと大使に加え、青葉小学校・葵小学校の校歌を制作した音楽家のマシコタツロウさんに就任していただくこととなり、式典で就任式が行われました。

マシコさんは、「2校の校歌を制作していく中で、町を訪れ、風光明媚な場所や温かい人に触れ、茨城町のファンになった。茨城町を第2のふるさととして、どんどんPRしていきたい。」と抱負を述べ、青葉小学校校歌と「ハナミズキ」をピアノの弾き語りで披露しました。

経歴
1978年生まれ 茨城県常陸太田市出身
2002年に一青窈の1stシングル「もらい泣き」で作曲家デビューを果たし、2004年には代名詞ともなる「ハナミズキ」を作曲。
現在、作詞・作曲活動の傍ら、毎週水曜日午後1時から茨城放送「Smile Smile+i」のパーソナリティーも務めている。

第1部 茨城町民の日記念式典

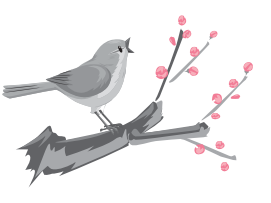
- 1 ファゴット奏者 皆神陽太さんによるオープニングアトラクション。
- 2 栗原実行委員長の挨拶。
- 3 青葉中学校生徒による、茨城町民憲章唱和。



茨城町少年の主張で町長賞を受賞した2人の発表。
4 青葉小学校6年 藤枝胡百さん
5 青葉中学校1年 江幡さくらさん



- 6 「いばらきまち三世代同居家族賞」受賞者代表 藤枝道明さんご家族。
- 7 茨城町生活改善クラブ連合会による「地産地消のおもてなし料理」では、つと豆腐などの郷土料理が並びました。



第2部 人づくり講演会

- 8 楽しいお話を聞かせてくれた宮本隆治さん。
- 9 会場は賑やかな笑い声で包まれました。

きらり子どもあんどん2017

茨城町民の日（2月11日）に、茨城町商工会青年部が主催する「きらり子どもあんどん2017」が町運動公園において開催されました。

「子どもたちの想いを『光』で演出」をテーマに、町内の小学校から集められた作品には、子どもたちの描いた将来の夢やイラストが、ろうソクの光で幻想的に浮かび上がりました。

とても寒い日でしたが、訪れたたくさんの来場者に豚汁や甘酒などがふるまわれ、心も身体も暖まる夜となりました。

